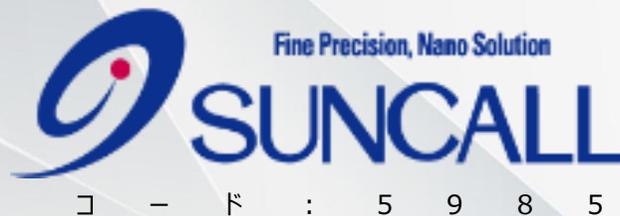


# 2022年3月期 決算報告 2023年3月期 業績見通し

2022年5月13日



# AGENDA



**I. 2022年3月期 決算概要**

**II. 2023年3月期 業績見通し**

# 2022年3月期 決算概要

前期比大幅増収増益、売上高・営業利益はほぼ2/10公表予想通りで着地

**売上高**            **47,438百万円**（前期比+7,298百万円/ +18.2%）  
**営業利益**            **649百万円**（前期比+1,942百万円）

世界的な半導体不足や新型コロナ変異種拡大に伴う部品不足による自動車減産の影響を受けるも、自動車分野において前期比大幅回復。電子情報通信分野においても高い需要が継続し前期比増収。

### 自動車分野

**売上前期比+13.8%、+3,738百万円**

\* 材料関連

弁ばね用材料や精密異形材料が大きく回復

\* 自動車関連

前年の新型コロナウイルスからの回復、重点戦略製品(バスバー、LED部品他)の拡販により売上前期比+12.4%を達成

### 電子情報通信分野

**売上前期比+31.1%、+3,765百万円**

\* HDD用サスペンション

データセンター向け投資増で需要は高水準。

売上前期比+39.1%

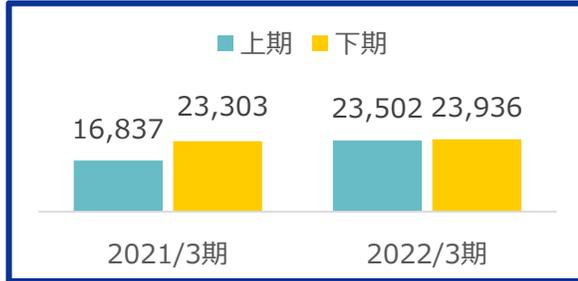
\* プリンター関連

家庭用特需が継続し、売上前期比+12.9%

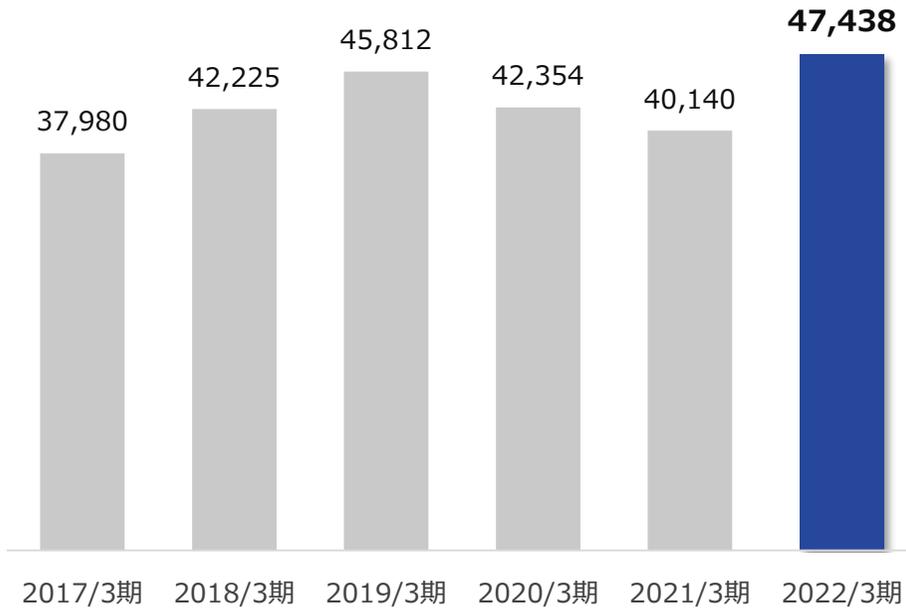
◆ 売上高	自動車分野での回復およびHDD用サスペンションの増加により前期比+7,298百万円
◆ 営業利益	増収に伴い営業利益649百万円を計上、前年比+1,942百万円の大幅収益改善
◆ 経常利益	鋼材価格高騰による作業屑売却益の増加(前期比+120百万円)
◆ 当期純利益	特別利益に投資有価証券売却益401百万円を計上(2021年3月期は同805百万円計上)

単位：百万円	2021年3月期		2022年3月期			
	実績	実績	前期比	2/10 公表予想	予想比	(参考) 当初予想
売上高	40,140	<b>47,438</b>	+7,298	47,600	▲162	47,000
営業利益	▲1,293	<b>649</b>	+1,942	650	▲1	400
経常利益	▲1,000	<b>1,022</b>	+2,023	850	+172	500
当期純利益	61	<b>904</b>	+843	710	+194	470
一株当たり利益	1.95円	<b>29.34円</b>				
平均為替レート	106.1円/ドル	<b>112.4円/ドル</b>				
	123.7円/ユーロ	<b>130.6円/ユーロ</b>				

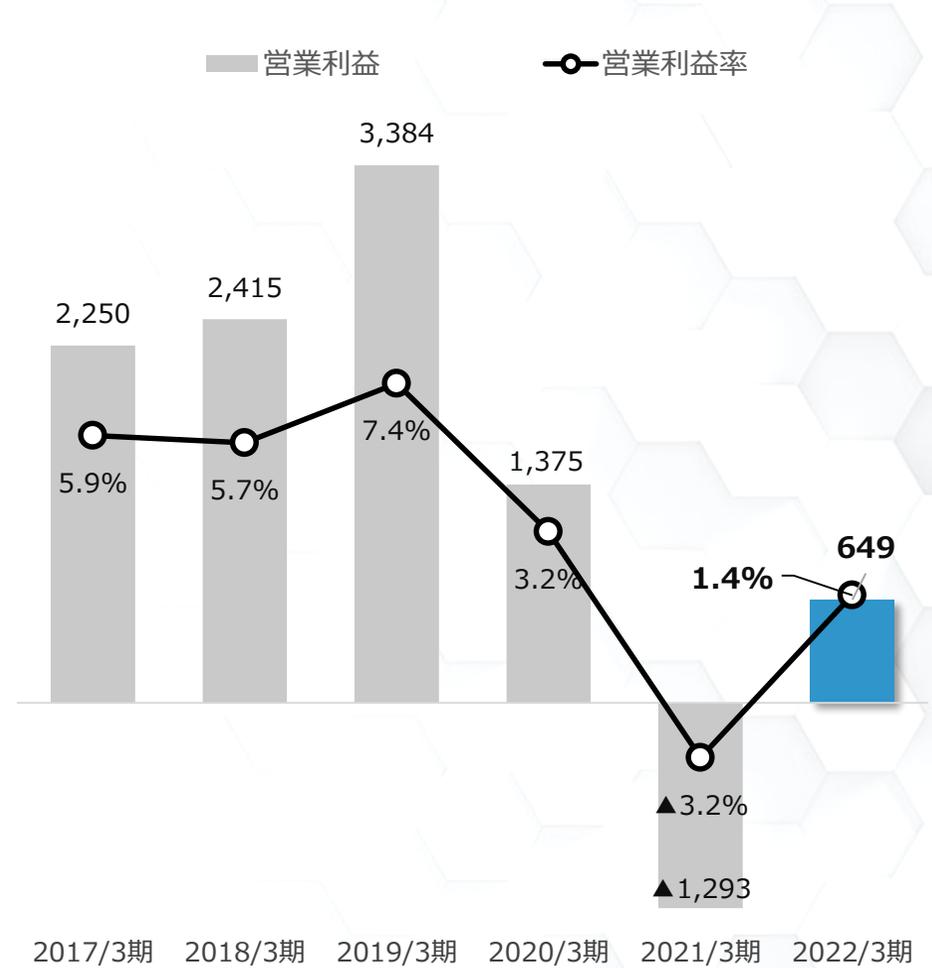
## 売上高の推移



(百万円)



## 営業利益・営業利益率の推移



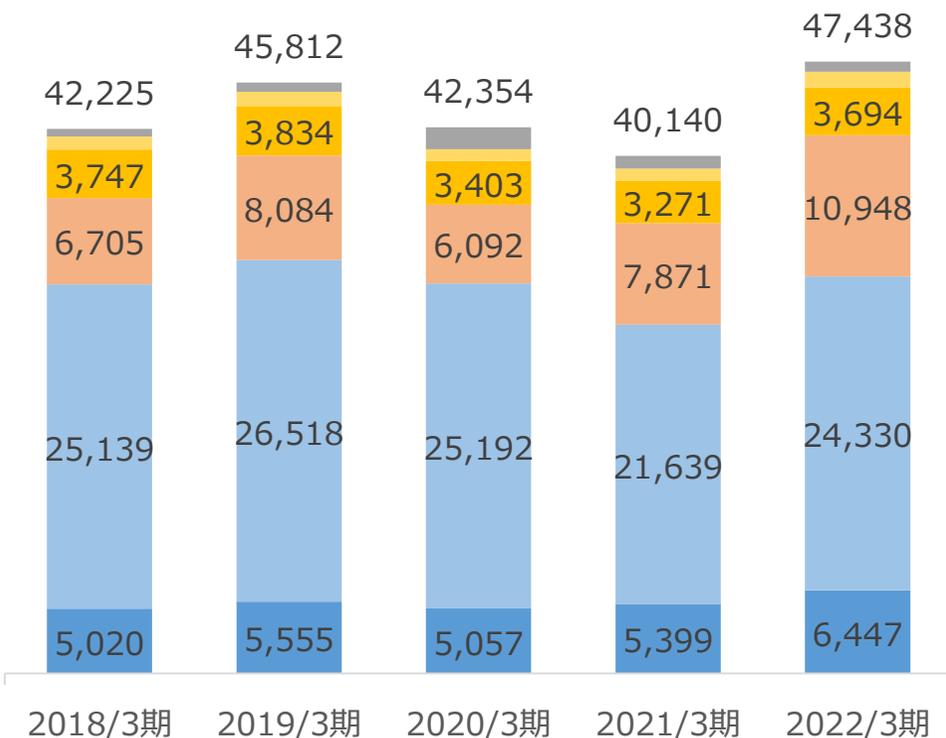
◆ 自動車分野	材料関連	自動車分野における前年の新型コロナウイルスからの回復による前年比増収
	自動車関連	部品調達不足による自動車減産影響を受けるも、自動車分野の回復および重点戦略製品(バスバー、LED部品他)の拡販により前期比増収
◆ 電子情報通信分野	HDD用サスペンション	データセンター投資増に伴う需要増加が継続
	プリンター関連	リモートワーク増加による家庭用(コンシューマ向け)需要増加が継続
	通信関連	主な市場である北米・アジアの需要回復により前期比増収

単位：百万円	2021年3月期		2022年3月期	
	実績	実績	前期比	
売上高	40,140	<b>47,438</b>	+7,298	+18.2%
自動車分野	27,039	<b>30,777</b>	+3,738	+13.8%
材料関連	5,399	<b>6,447</b>	+1,047	+19.4%
自動車関連	21,639	<b>24,330</b>	+2,690	+12.4%
電子情報通信分野	12,106	<b>15,871</b>	+3,765	+31.1%
HDD用サスペンション	7,871	<b>10,948</b>	+3,076	+39.1%
プリンター関連	3,271	<b>3,694</b>	+423	+12.9%
通信関連	963	<b>1,228</b>	+133	+27.6%
その他	995	<b>789</b>	▲206	▲20.7%

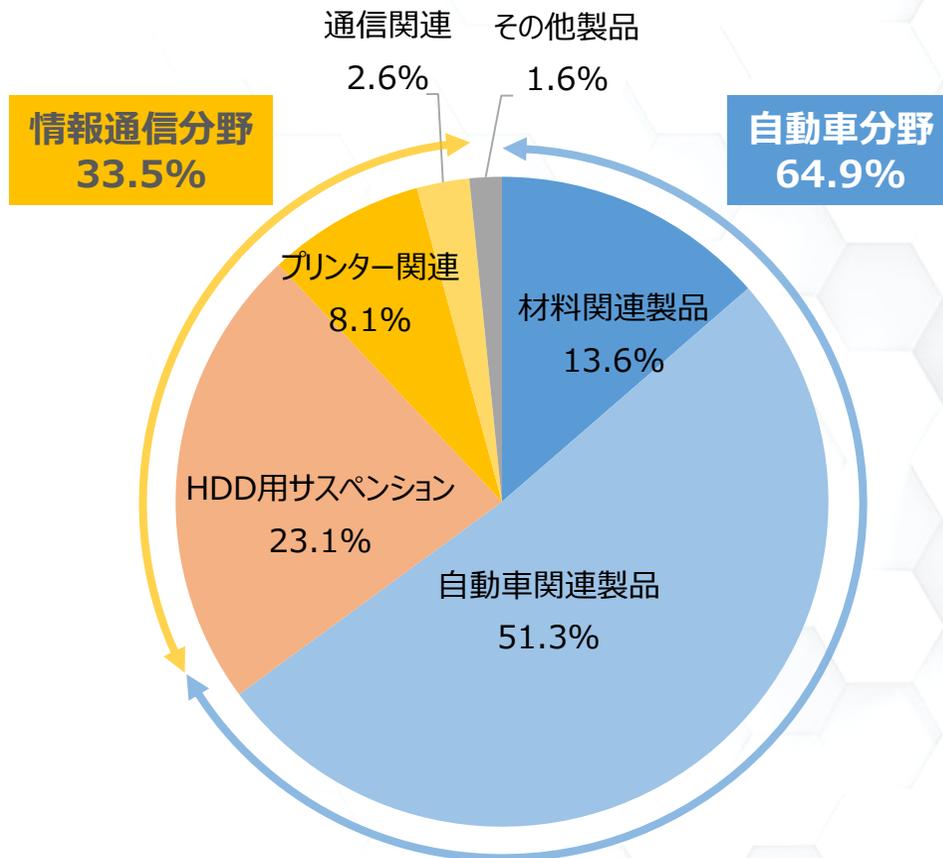
## 製品区分別売上高の推移

(百万円)

- 材料関連製品
- 自動車関連製品
- HDD用サスペンション
- プリンター関連
- 通信関連
- その他製品



## 2022/3期売上高構成比



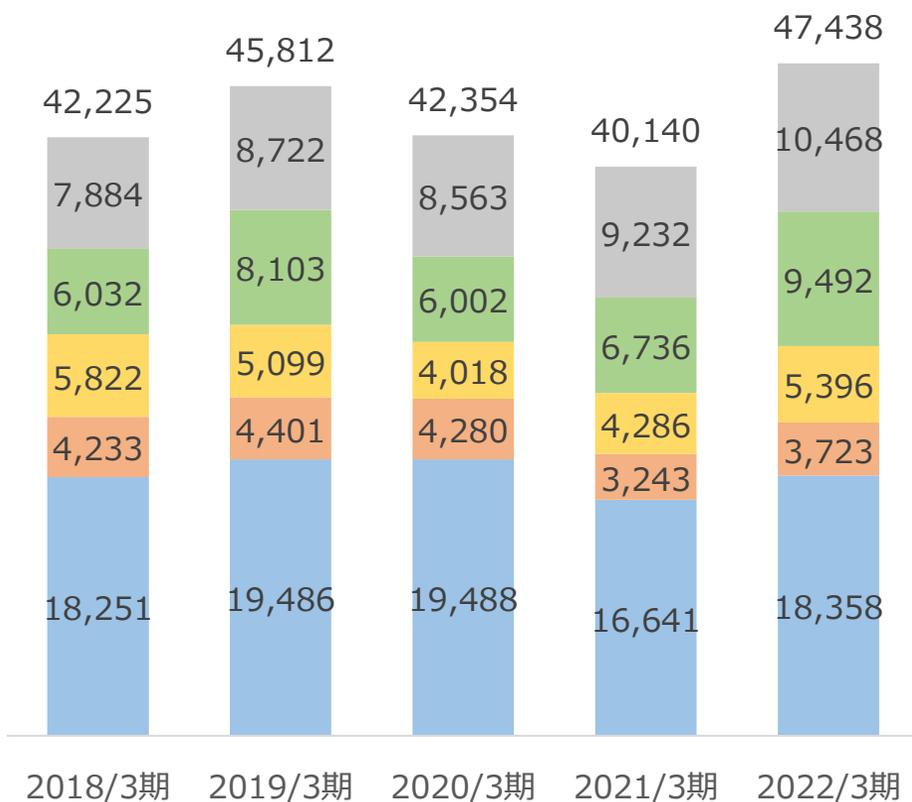
◆日本	自動車分野	自動車生産の回復による増収
◆米国	自動車関連製品	半導体不足の影響を受けるが、自動車生産の回復により前期比+245百万円増収
	通信関連製品	5G・IoT関連の需要拡大により前期比+204百万円増収
◆中国	自動車分野	半導体不足の影響を受けるが、自動車生産の回復により前期比+819百万円増収
◆フィリピン	HDD用サスペンション	データセンター投資増に伴う需要増加が継続
◆その他	HDD用サスペンション	タイ向けの納入増加他

単位：百万円	2021年3月期	2022年3月期	
	実績	実績	前期比
売上高	40,140	<b>47,438</b>	+7,298 +18.2%
日本	16,641	<b>18,358</b>	+1,716 +10.3%
米国	3,243	<b>3,723</b>	+480 +14.8%
中国	4,286	<b>5,396</b>	+1,109 +25.9%
フィリピン	6,736	<b>9,492</b>	+2,755 +40.9%
その他	9,232	<b>10,468</b>	+1,235 +13.4%

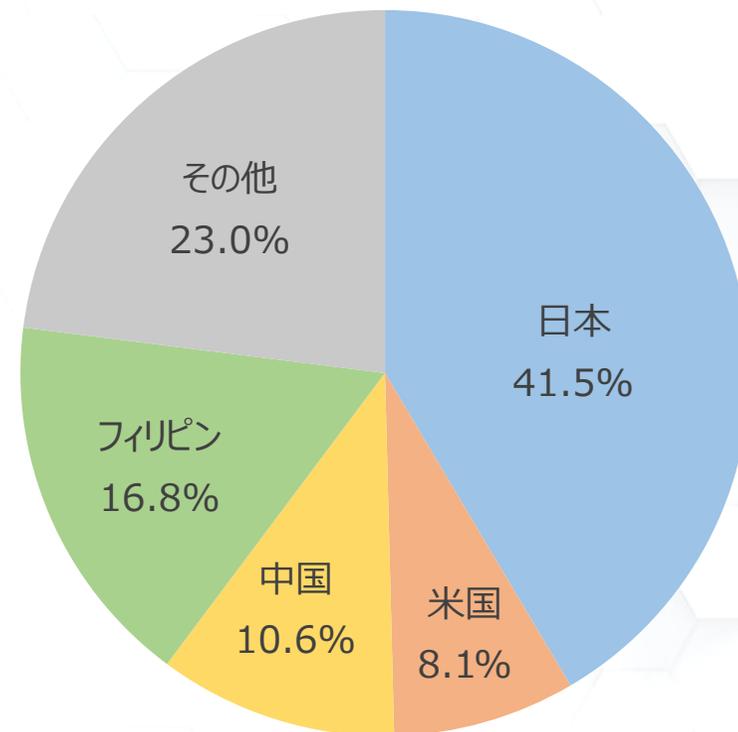
## 地域別売上高の推移

（百万円）

■ 日本 ■ 米国 ■ 中国 ■ フィリピン ■ その他

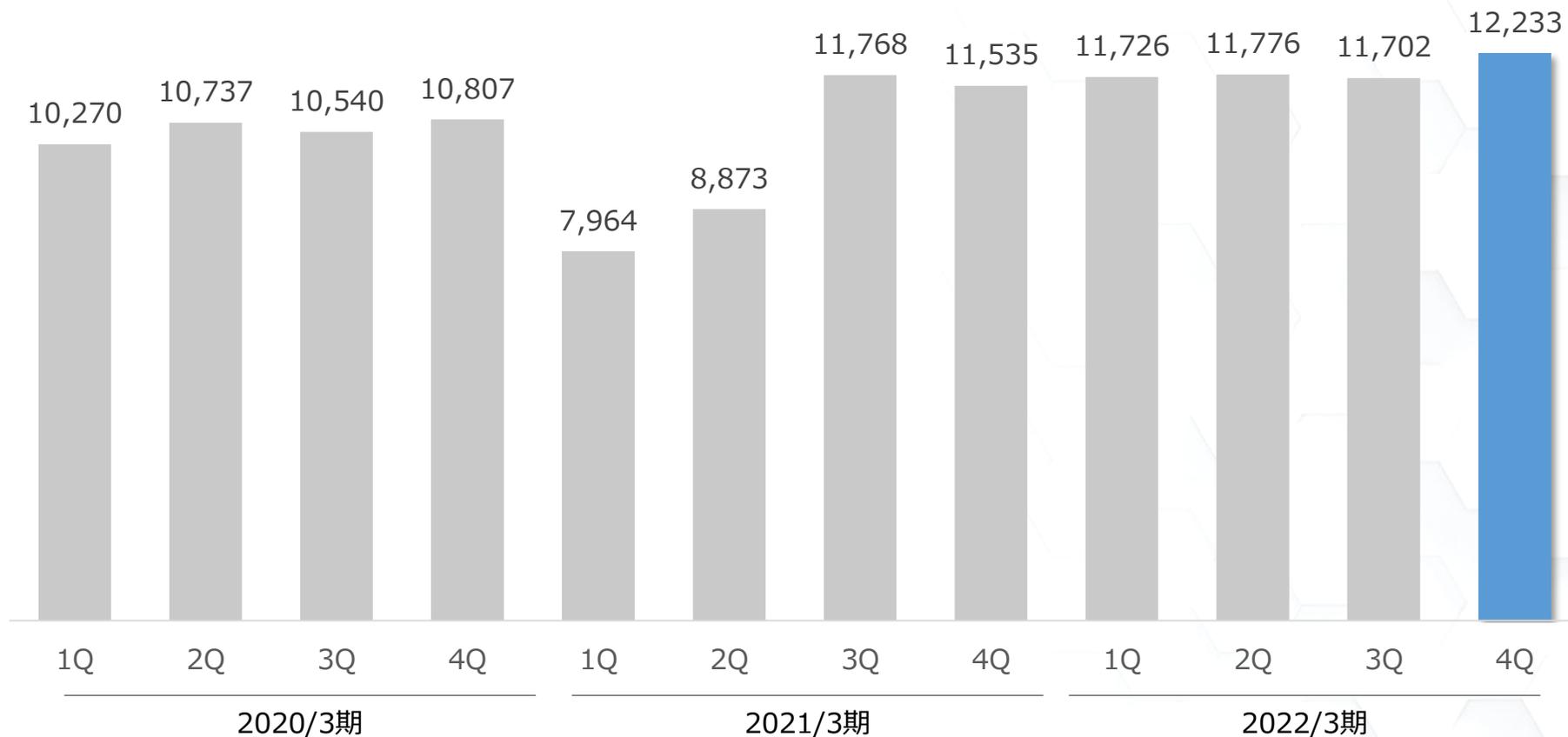


## 2022/3期地域別売上高構成比



## 四半期別売上高の推移

(百万円)



# 2022年3月期 連結貸借対照表

◆固定資産増加	HDD用サスペンションおよび重点戦略製品への積極的な投資により有形固定資産+977百万円
◆流動負債	短期借入金+3,456百万円、買掛金+1,100百万円、未払金▲696百万円
◆純資産増加	当期純利益+904百万円、配当金▲625百万円、為替換算調整勘定+930百万円 自己株式(公開買付他)の増加▲692百万円

単位：百万円	2021年3月期	2022年3月期	
	実績	実績	前期末比増減
流動資産	25,207	28,328	+3,120
現金	7,570	7,510	▲60
売上債権	9,996	11,076	+1,079
棚卸資産	6,465	8,463	+1,997
固定資産	28,167	29,602	+1,435
総資産	53,375	57,932	+4,557
負債合計	17,054	20,749	+3,695
流動負債	13,781	17,471	+3,689
有利子負債	2,802	6,031	+3,228
固定負債	3,272	3,278	+5
有利子負債	1,541	1,186	▲355
純資産合計	36,320	37,182	+861
負債純資産合計	53,375	57,932	+4,557

◆営業C/F	税引等調整前当期純利益が前期比+1,294百万円増加
◆投資C/F	投資有価証券売却収入前期比▲459百万円減少、設備投資はHDD用サスペンションを中心に高水準を維持
◆財務C/F	短期借入金+1,892百万円増加、自己株式（公開買付他）の取得により▲703百万円減少

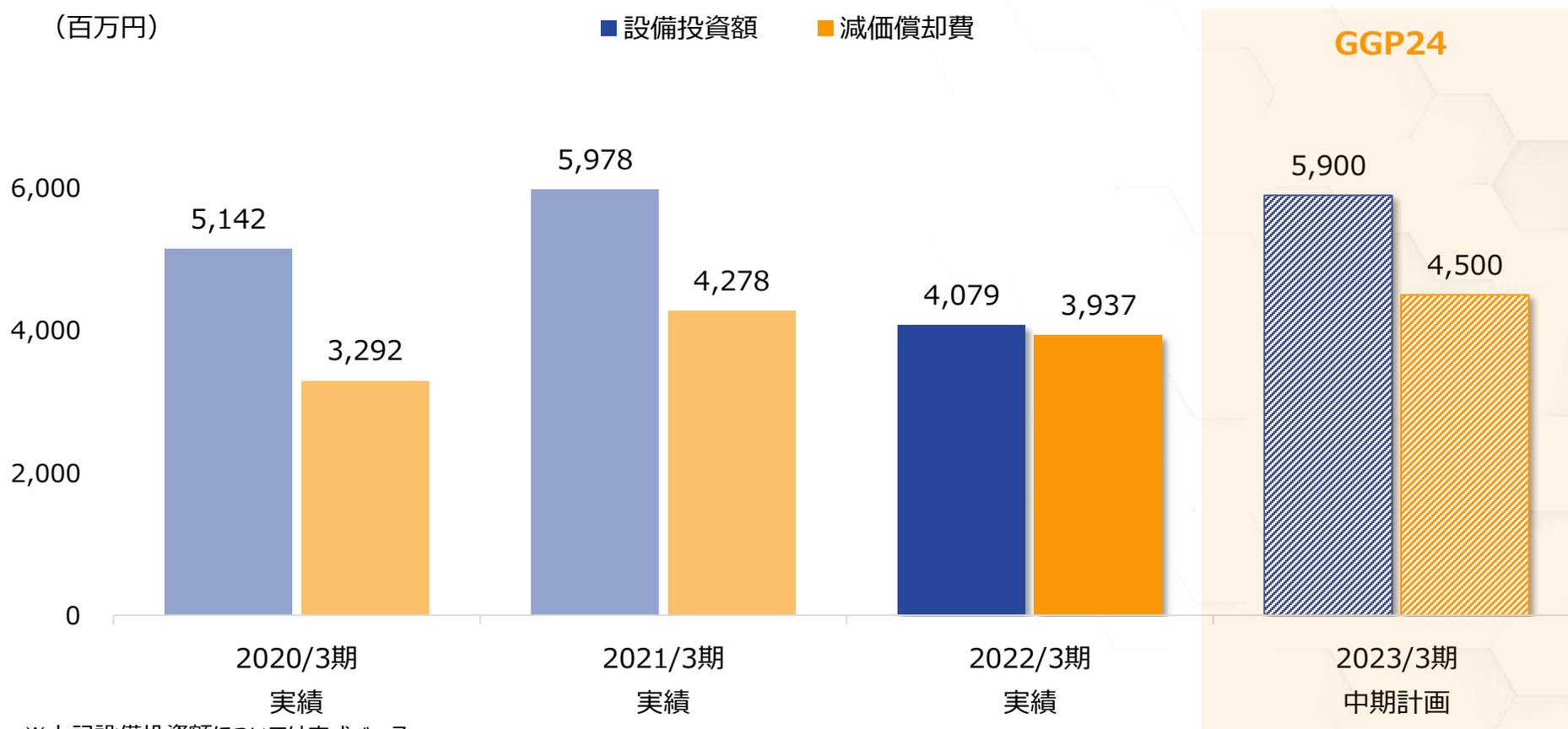
単位：百万円	2021年3月期		2022年3月期	
	実績		実績	増減
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,014</b>		<b>3,170</b>	<b>+156</b>
税引前当期純利益	136		1,431	+1,294
減価償却費	4,278		3,937	▲341
売上債権増減	▲666		▲832	▲165
棚卸資産増減	237		▲1,708	▲1,946
仕入債務増減	352		954	+601
投資有価証券売却益	▲805		▲401	+403
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>▲4,356</b>		<b>▲4,822</b>	<b>▲466</b>
固定資産取得による支出	▲5,208		▲5,237	▲28
投資有価証券売却収入	869		410	▲459
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>250</b>		<b>1,154</b>	<b>+903</b>
短期借入金増減	1,484		3,377	+1,892
長期借入金増減	▲381		▲691	▲310
自己株式の取得	▲100		▲704	▲703

◆2022年3月期はHDD用サスペンションを中心に継続した設備投資を実施

## 設備投資額・減価償却費

(百万円)

■ 設備投資額 ■ 減価償却費



※上記設備投資額については完成ベース

# 2023年3月期 業績見通し

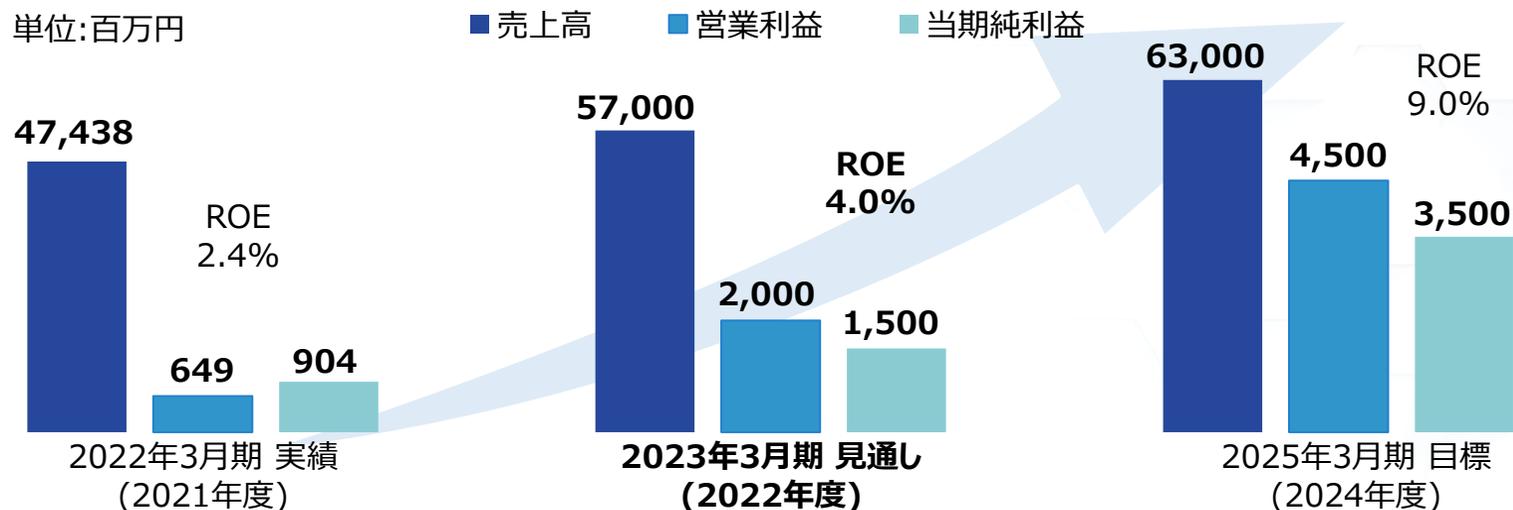
## EV等電動化関連事業及び電子情報通信関連事業の大幅増収により利益拡大

**売上高** **57,000百万円** 前期比：+9,562百万円(+20.2%)

**営業利益** **2,000百万円** 前期比：+1,351百万円

**当期純利益** **1,500百万円** 前期比：+596百万円

拡大する市場・需要増加に対応した各分野における大幅売上拡大を想定  
先行投資分野の確実な収益化を図り、利益成長の追求へ



◆ 売上高	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車生産の回復および重点製品の拡販、HDD用サスペンションの拡大により+9,562百万円増収の見込み</li> <li>中期経営計画対比では鋼材価格高騰および為替レート円安により+2,100百万円増加</li> </ul>
◆ 営業利益	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代事業の育成に向けた戦略投資を継続しつつも、増収に伴い営業利益+1,351百万円の増加見込み</li> <li>中期経営計画通りと想定</li> </ul>

単位：百万円	2022年3月期	2023年3月期				
	実績	中期経営計画	見通し		通期 前期比	対中期経営計画
	通期	通期	上期	通期		
売上高	47,438	54,900	27,700	57,000	+9,562	+2,100
営業利益	649	2,000	600	2,000	+1,351	±0
経常利益	1,022	—	700	2,100	+1,178	—
当期純利益	904	—	450	1,500	+596	—
一株当たり利益	29.34円	—	15.00円	49.96円		
平均為替レート	112.4ドル/円	110.0円/ドル	120.0円/ドル	120.0円/ドル		
	130.61円/ドル	125.0円/1ドル	132.0円/1ドル	132.0円/1ドル		

◆自動車分野	自動車関連	自動車生産の回復および重点製品拡販(バスバー、ローターコア、LED部品他)により 前期比+3,690百万円増収見込み
◆電子情報通信分野	HDD用 サスペンション	データセンター投資増に伴う需要は引き続き高水準に推移、新規機種量産稼働に向けた 新生産ライン立上げは計画通りに進捗、前期比+5,432百万円増収見込み
	プリンター関連	リモートワーク増加に伴う家庭用(コンシューマ向け)需要増加の継続

単位：百万円	2022年3月期		2023年3月期	
	実績	見通し	前期比	
売上高	47,438	<b>57,000</b>	+9,562	+20.2%
自動車分野	30,777	<b>34,770</b>	+3,993	+13.0%
材料関連	6,447	<b>6,750</b>	+303	+4.7%
自動車関連	24,330	<b>28,020</b>	+3,690	+15.2%
電子情報通信分野	15,871	<b>21,570</b>	+6,359	+40.1%
HDD用サスペンション	10,948	<b>16,380</b>	+5,432	+49.6%
プリンター関連	3,694	<b>3,900</b>	+206	+5.6%
通信関連	1,228	<b>1,290</b>	+62	+5.0%
その他	789	<b>660</b>	▲129	▲16.3%

## ◆ 中期経営計画GGP24達成に向け、次世代事業の伸長を見込む

◆ EV等電動化関連事業	バスバー、LED部品、ローターコアなど電動化関連製品の伸長+1,434百万円増収
◆ 電子情報通信関連事業	データセンター投資増に伴う需要増加
◆ 既存自動車関連事業	新型コロナウイルス感染影響および半導体不足からの回復を見込む増収 鋼材価格高騰分の価格反映

単位：百万円	2022年3月期	2023年3月期	対2022年3月期
	実績	見通し	実績比
売上高	47,438	<b>57,000</b>	+9,562
EV等電動化関連事業	2,036	<b>3,470</b>	+1,434
電子情報通信関連事業	16,660	<b>22,230</b>	+5,570
HDD用サスペンション	10,948	<b>16,380</b>	+5,432
プリンター関連	3,694	<b>3,900</b>	+206
通信関連	1,228	<b>1,290</b>	+62
その他	789	<b>660</b>	▲129
既存自動車関連事業	28,741	<b>31,300</b>	+2,559
材料関連	6,447	<b>6,750</b>	+303
自動車関連	22,294	<b>24,550</b>	+2,256



(単位:百万円)

## 対GPP24中期計画

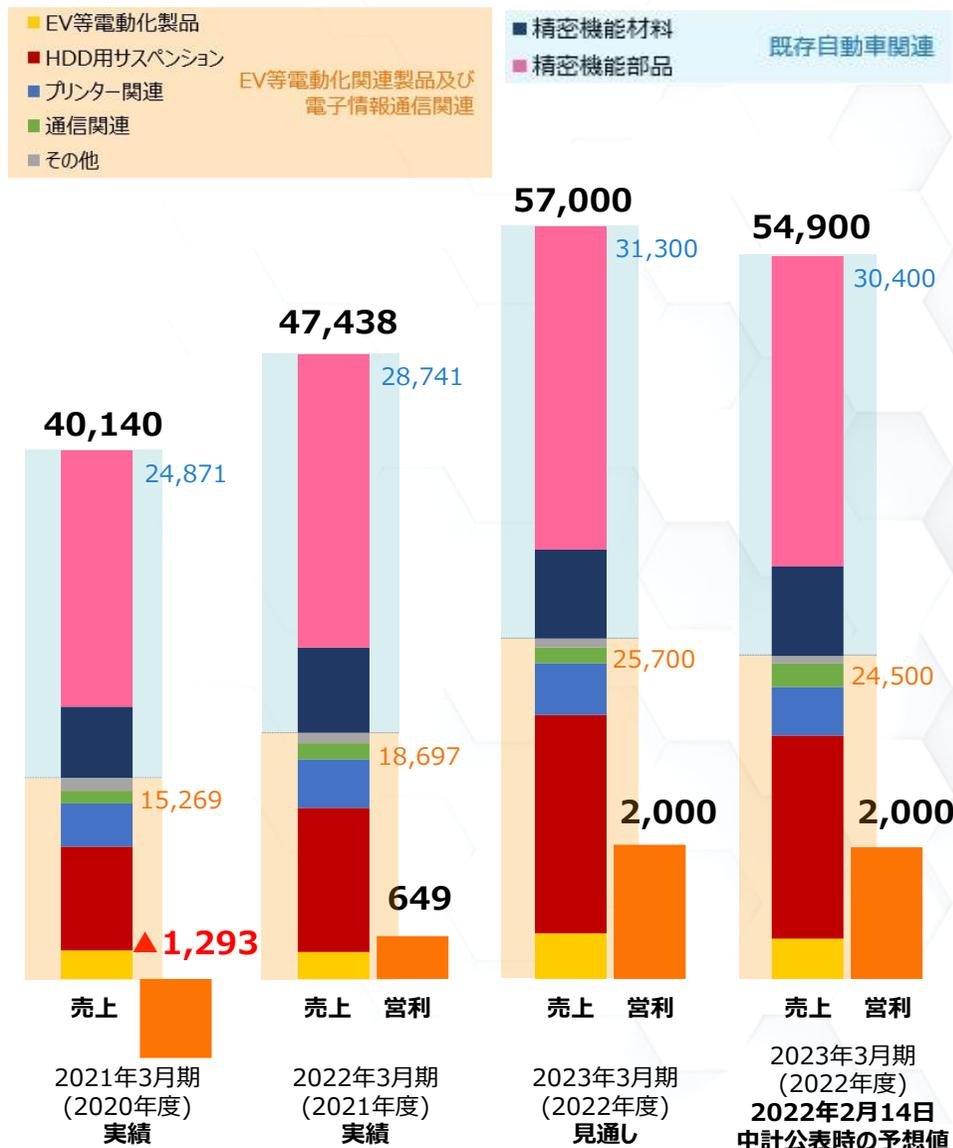
### ◆EV等電動化関連事業及び

#### 電子情報通信関連事業

- 電動車向けバスバーの国内自動車メーカー2社採用に加え、今後他車種への展開を推進
- EV車への量産供給開始済みシャントバスバーについては、高精度電流検出用のシャントセンサーと合わせて欧州・中国・米国での拡販活動を展開
- サスペンション事業は、IoTの拡大や映像データの蓄積などデータセンター向けニアラインドライブ大容量ハードディスクドライブ（HDD）の高い需要に伴い売上拡大

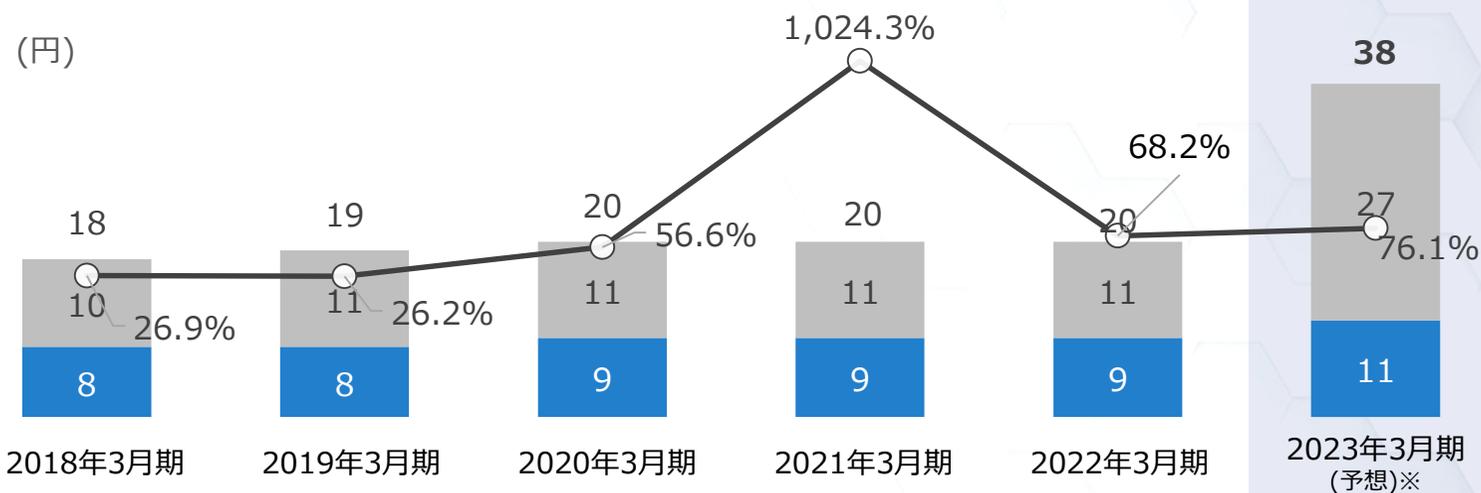
### ◆既存自動車関連事業

- 既存事業（主力のエンジンやミッション系精密機能部品で構成）は現状の売上規模を維持しつつ、鋼材価格高騰の価格転嫁遅れはあるが収益性改善を推進



◆ <b>2022年3月期</b>	新型コロナの影響からは回復傾向ではあるものの、依然変異株や部品不足での自動車生産減少により純利益率1.9%。一方で下限配当20円は継続
◆ <b>2023年3月期</b>	資本収益性とBSマネジメントを推進すべく、自己資本の積み増しを抑制するための積極的な株主還元を実施

**配当方針**      ➤ **ROE9.0%を超過するまで配当性向を75%とする**（配当下限は20円を継続）



中間配当	8円	8円	9円	9円	9円	<b>11円</b>
期末配当	10円	11円	11円	11円	<b>11円</b>	<b>27円</b>
年間配当合計	18円	19円	20円	20円	<b>20円</b>	<b>38円</b>

※今後業績予想が修正される場合、配当方針に基づき修正されることとなります。

## 【ご注意】

本日の説明資料には、当社の事業に関する業績見通し、将来の計画・方針等に関する記述が含まれていますので、株券等の取引を行う際には、金融商品取引法その他の法令の遵守をお願い申し上げます。また、将来予想は、現時点で入手できる情報に基づき作成しており、既知または未知のリスク・不確実な要因等を含んでいるため、当社の実際の業績、事業活動や財政状態が、将来予想の内容と大きく異なる場合がありますが、そのような場合であっても当社は、将来予想の内容を更新または修正して公表・開示する責任を負うものではありません。

